

関東 **DX・i-Construction** 人材育成センター



BIM/CIM実践トレーニング研修での討議状況
(討議内容：実施項目の選定方法と活用内容に対する効果について)

令和7年度上期DX研修・講習等の実施報告

9月以降の研修・講習等の詳細については、
右のQRコードよりご覧ください
自治体や民間企業の皆様の研修へのご参加を
お待ちしております



vol.12
2025/9

DX研修・講習等の実施報告（1／2）

関東DX・i-Construction人材育成センターにおいて8月までに実施した研修・講習等について報告します。

9月以降の研修・講習等の詳細については、右のQRコードよりご覧ください。

自治体や民間企業の皆様の研修へのご参加をお待ちしています。



■ 地方公共団体職員を対象とした研修については、個別に関東地方整備局よりご案内をお送りします。なお、ご案内が届いていない場合は、関東DX・i-Construction人材育成センターにご連絡ください。 連絡先：ktr-dx@gxb.mlit.go.jp

■ 受発注者を対象とした講習については、開催の3週間前を目安に関東DX・i-Constructionサイトの「ICT講習、ICT施工Webセミナーへの申込み」にてご案内いたします。参加をご希望される場合は、募集条件等をご確認のうえ、お申し込み下さい。 URL：https://www.ktr.mlit.go.jp/dx_icon/iconst_index00000002.html

関東地整 DX

検索

●BIM/CIM研修（発注者向け）

【対象】国土交通省・地方公共団体職員

●BIM/CIM研修（概論、発注（工事・業務）、監督・検査※、実践トレーニング）

- 内容
- ・概論では、BIM/CIM活用による有効性の理解を目的に、建設分野を取り巻く動向及びBIM/CIMの基礎的な内容について講義を行いました。
 - ・発注では、BIM/CIM活用業務・工事の発注にあたり、発注者として判断・確認・実施すべき事項等専門的な内容について講義を行いました。
 - ・監督・検査では、BIM/CIM活用業務・工事の発注にあたり、発注者として判断・確認・実施すべき事項について講義を行いました。
 - ・実践トレーニングでは、BIM/CIM活用にあたり、グループ形式により課題解決に向けた討議を行うなど、実践的な内容について講義を行いました。

- 実施
- ・概論(年2回実施) 第1回：81名 第2回：84名 (うち地方公共団体職員：116名)
 - ・発注(年2回実施) 第1回：80名 第2回：39名 (うち地方公共団体職員：68名)
 - ・監督・検査(年2回実施) 第1回：13名 第2回：25名
 - ・実践トレーニング(年4回実施) 第1回：19名

受講者の感想

- ・CIMの活用事例や実施にあたっての留意点を明確に説明していただきとても参考になった。
- ・BIM/CIM業務を実施する際の留意点、手続き、詳細度の設定、様々な取り組み状況、今後の展望等について非常に勉強になった。
- ・BIM/CIM活用の効果のみならず、実施計画書、見積書、実施報告書を受領した際の確認事項など、監督職員として何をすべきかが理解できた。
- ・今後、BIM/CIMを発注するにあたっての具体的な作業について知ることができた。



個別説明



班別討議

●ICT施工研修（発注者向け）

【対象】国土交通省・地方公共団体職員

●ICT施工研修（基礎、監督）

- 内容
- ・基礎研修では、ICT活用工事の基礎的な知識習得として施工時のプロセスを全般的に学習し、工事担当者として適切な取り扱いができるように、講義及び現場実習を行いました。
 - ・監督研修では、ICT活用工事の監督・検査等で必要となる技術基準や留意点等を学習し、工事監督を通して受注者に対して適切な指導が行えるように、講義及び現場実習を行いました。

- 実施
- ・基礎(年3回実施) 第1回：15名 第2回：20名 (うち地方公共団体職員19名)
 - ・監督(年3回実施) 第1回：9名 (うち地方公共団体職員2名)

受講者の感想

- ・実際のCAD操作や測量機器を触ることができたとともに、最新の情報を聞くことができ、大変有意義だった。
- ・ICT建機や、測量機器に実際に触れることで、ICT施工による効率化が実感を持って理解できた。
- ・近年、ICT活用を申し出る受注者も増えており、基準類の解説や検査の留意点、実地検査実習等、実践に即した講義で、今後の業務執行に有効であると感じた。
- ・基準類、施工の流れ、監督・検査の留意点、機器実習等、網羅的に学べて良かった。
- ・高齢化社会に突入し、建設業界における生産性の向上が求められる中、測量や施工プロセス等において様々な工夫が取り組まれていることについてよく理解できた。



3次元計測機器による
起工測量実習



模擬検査状況

DX研修・講習会等の実施報告（2／2）

●ICT施工講習,Webセミナー,無人化施工（発注者向け）

【対象】民間技術者等

●ICT施工 3次元データ作成講習【年4回実施】

内容 ICT施工の起工測量・設計・施工・出来形管理・検査の各段階で扱う3次元データについて、測量後のデータ処理から帳票作成までの一連の作業を専用ソフトを用いて実施する、実技形式の実践的な講習を行いました。

実施 第1回：11名 第2回：6名 第3回：18名 第4回：7名(官公庁2名、民間企業40名)

受講者の感想

- ・3次元CADソフトを使用しての図面の設計照査や3次元設計データ作成に関する一連の流れについてよくわかった。
- ・事例をご紹介いただいて、データが実際にどのように使われているかについて理解度が上がった。
- ・ICT施工によって省人化が図れる可能性を感じた。



講義状況



個別説明

●ICT施工 施工講習【年2回実施】

内容 ICT施工における起工測量、ICT建設機械での施工、出来形計測・帳票作成までの一連の流れを研修ルームでの講義と現場実習フィールドでの機器の操作実習により学ぶことでICT施工に関する基本的な知識を得られる講習を行いました。

実施 第1回：23名 第2回：22名（官公庁3名、民間企業42名）

受講者の感想

- ・測量機器やICT建機の説明を聞くだけでなく、実際に使用することで分かりやすかった。
- ・作業効率向上はもちろんだが、安全の観点でもかなり優れた技術であると感じた。
- ・知識だけだったものが、実習を通してより理解が深まった。
- ・ICT施工技術がここまで進歩しているとは思っていなかった。
- ・3次元設計データを用いる丁張設置は、従来の方法よりも、かなりの時間短縮につながる事がわかった。



3次元計測機器による起工測量実習



ICT建設機械による施工実習

●ICT施工 Webセミナー【年4回実施】

内容 ICT施工の各分野のエキスパートであるICTアドバイザーを講師に招き、ICT施工に関する技術や機械、BIM/CIMに関する取組、ICT施工Stage II やi-Construction2.0に関する取組など、幅広い内容を映像などを用いて紹介しました。

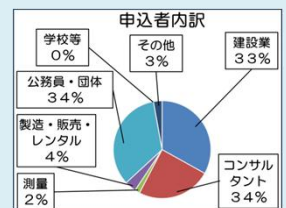
実施 第1回：2,360名(4日間累計)（官公庁802名、民間企業1,558名）

受講者の感想

- ・初歩から実践まで一連を学べて大変良かった。
- ・点群データから設計、数量計算についての説明があり、わかりやすかった。
- ・BIMとCIMの違いなど、初歩的な内容から実例など幅広い知識を学べた。
- ・全体的に実際に現場でICTを活用している方々からの視点は具体的かつ実践的で大変ためになった。
- ・土木工事におけるICT施工の現状、今後の展望が理解できた。



セミナー配信状況



●遠隔施工講習【年3回実施：集合】

内容 土木工事における施工や災害発生時の応急復旧作業等において、建設機械のオペレータの方が離れた場所から安全に作業ができる「遠隔施工技術」をより身近に感じていただくことを目的に、研修ルームでの講義と現場実習フィールドでの遠隔操作実習を行いました。

実施 第1回：22名 第2回：23名 第3回：22名（民間企業22名）

受講者の感想

- ・機器の設置方法から操作まで実際に行えたのでとても理解できた。
- ・映像目視では、L 5G方式とWi-Fi方式について、映像遅延と操作感の違いを比較できて分かりやすかった。
- ・今後、有害な場所や危険で近づけない場所では、遠隔操作の採用が増えると思うので体験できてよかった。
- ・災害協定を結んでおり、遠隔施工を災害現場でも取り入れたい。



5G通信による遠隔操作実習

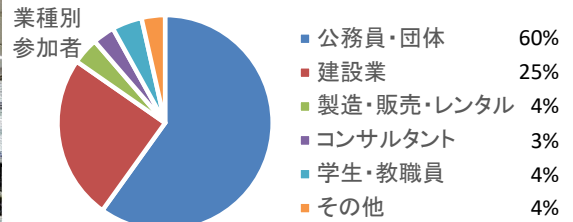


遠隔操作実習

★トピック★

『小規模工事で役立つICT施工現場体験会』を開催しました

中小建設業への更なる ICT 施工普及拡大に向け、小規模現場で役立つ ICT 施工技術として、省力化建機（チルトローテータ）、小型 ICT 建機、電動建機、遠隔操作建機、自動積込建機、計測機器などの現場体験と、ロボット技術の技術講演を開催しました。



実施概要

目的：小規模工事で活用できるICT施工技術を体験することにより、地方公共団体発注工事におけるICT施工の普及促進を図るため。

日程：令和7年8月28日（木）～8月29日（金）

場所：関東技術事務所

概要：ICT施工現場展示エリア、ICT体験エリア、技術講演会
来場者：424名（内講演会聴講者：350名）

感想

- ・実際に動いているのを見て建設機械の使い方や、計測機器の内容について詳しくお聞きできて、自分の職場でも導入を検討しようと思いました。
- ・チルトローテータ、自動建設機械の動きを見られてよかった。特に電動のバックホウは実物を現場で見て騒音の少なさを体験できてよかった。
- ・技術講演会について、ロボット建設機械の研究状況と課題をわかりやすく説明していただき、大変勉強になりました。
- ・参加して貴重な経験となったので、ぜひ来年度も開催して欲しい。

建設技術展示館 DXパークのご案内

建設技術展示館では建設現場で活用されているインフラDX技術を体験できます。

《体験メニュー例》

- ・レーザースキャナ体験：自分自身が被写体になって、最新の測量技術を体験しよう。
- ・VR操作体験：河川管理施設や工事現場など仮想空間で現場を体験しよう。
- ・LiDAR体験：タブレットを使っていろんなものを三次元スキャンしてみよう。

※体験希望の方は建設技術展示館ホームページの団体見学にてお申し込みください。



ご利用案内

開館日 火曜日～金曜日
 （祝日及び年末年始は除く）
開館時間 10:00～16:00
入館料 無料
駐車場 無料駐車場あり
 （大型バス駐車可）

お問い合わせ先

〒270-2218
 千葉県松戸市五香西6-12-1
 国土交通省 関東地方整備局
 関東技術事務所
建設技術展示館事務局
 [TEL] 047-394-6471

建設技術展示館 **検索**

関東DX・i-Construction 人材育成センター

【関東技術事務所】

関東DX・i-Construction人材育成センター
 建設技術展示館
 〒270-2218 千葉県松戸市五香西6-12-1
 TEL：047（389）5123（技術企画・人材育成課）

【関東地方整備局】

関東DXルーム
 〒330-9724 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1
 さいたま新都心合同庁舎2号館18階
 TEL：048（600）1329（企画部 企画課）



関東DX人材育成 **検索**

